

## 思春期性教育における外部講師協働モデルの構築に関する研究

研究分担者 松浦 賢長（福岡県立大学看護学部）

研究協力者 原田 直樹（福岡県立大学看護学部）

梶原由紀子（福岡県立大学看護学部）

### 研究要旨

今回、地域の専門職による思春期性教育の協働モデルを構築するために、ある公立小学校における取り組みの流れを検証した。

外部講師による思春期性教育は、授業そのものによる児童の知識習得・態度変容を期待するのはもちろんのこと、終着点（End）として個別支援をどのように進めるかという新しい視点が重要になると考えられた。その意味で、授業は終着点（End）ではなく、授業前後の評価を通して個別支援につなぐ入口であるとの認識を新たにした。とくに性に関連する問題に関しては、個別性・多様性が高く、集団一律とならざるをえない授業には限界がある。

今回の連携は3系統に設定された。1つ目の連携系統は学校と外部講師（助産師）の間の取組であり、連携会議が中心となった。

2つ目は、授業の中心となった外部講師と保護者との連携構築であった。保護者との多層なやり取りにおいて、保護者の反応や無反応、またその反応・無反応と児童の知識理解や態度変容の関連が明らかになった。

3つ目の連携系統は、学校と地域の保健師との連携である。個別支援対象とされた児童が、就学前にどのような健康状況・家庭状況にあったのか、また、中学進学後の進路によっては地域でどのような支援が必要なのか、この時間軸を過去と未来に伸ばして議論できるのがこの保健師が参画する大きな意義となり、まさに成育医療等基本方針にある「切れ目のない」支援の枠組みが一人ひとりの子供に向けて構築される一つの手立てとなりうると考えられた。

### A. 研究目的

成育医療等基本方針の学童期及び思春期における保健施策において、「男女を問わず、人間の身体的・精神的・遺伝学的多様性を尊重しつつ、妊娠、出産等についての希望を実現するため、妊娠・出産等に関する医学的・科学的に正しい知識の普及・啓発を学校教育段階から推進する」と書かれており、学童期・思春期の子供を対象にした性に関する指導（以後本稿では思春期性教育とする）の目的が明確化されてい

る。その目的は言い換えれば、一人ひとりの子供における医学的・科学的に正しい知識の確かな習得・定着となる。この目的を達成するためには、学校の教員のみならず、特に地域の専門職による思春期性教育への参画が求められる。

今回、地域の専門職（今回は助産師1名を外部講師とした）による思春期性教育の協働モデルを構築するために、ある公立小学校における取り組みの流れを検証することとした。

## B. 研究方法

A県B市立のC小学校4年生(1クラス19人)における思春期性教育(授業)を対象とした。今回の一連の取り組みに参画した者は下記の表1に示した通りである。

表1. 取り組みに参画した者一覧

- 
- ・コーディネーター(本研究班員)
  - ・外部講師1名(助産師)
  - ・B市保健師5名(母子保健担当)
  - ・担任教諭
  - ・養護教諭
  - ・養護教諭(進学先公立中学校)
- 

(倫理面への配慮)

児童一人ひとりの状況については、研究班員は実名情報を取り扱わないこととした。

## C. 研究結果

### 1. 目的の設定

今回の取組目的については、外部講師となる助産師は個別支援の専門職であることから、「集団を対象とした思春期性教育を通して個別支援の枠組みを構築すること」とした。また、実施する授業の目的は、児童の日常生活の課題から「自他ともに心身の健やかな成育が図られること」を旨とし、具体的には「周りの支えにより成長していることの理解」と「周りを大切にしようとする態度の形成」とした。なお、特別活動の時間を用いて行われた本授業については、教諭(学校)側と助産師の協議の上で通称「命の授業」と称することとなった。

### 2. 目標の設定

外部講師(今回は助産師)が参画する意義を議論した結果、授業目標を下記の7項目とした。

表2. 設定した思春期性教育の授業目標

- 
- ①思春期にどんな変化が起こるか言える。
  - ②赤ちゃんは、お母さんのお腹の中で大切に育てられることを理解する。
  - ③赤ちゃんをやさしく抱っこすることができる。
  - ④自分たちの成長はまわりの人にささえられてきたからだを認識している。
  - ⑤悩みができた時や困った時に、相談できる大人を思い浮かべることができる。
  - ⑥今生きている時間を大切にしたいと思う。
  - ⑦まわりの人やいきもの、草花を大切にしている。
- 

### 3. 事前事後の連携会議

授業を挟んで合計6回の連携会議が持たれた。授業の事前に4回、授業の事後に2回である。

#### 3-1. 第1回連携会議

出席者は担任教諭、養護教諭、助産師であった。授業実施の36日前であった。時間は60分間であった。会議内容は下記であった。

表3. 第1回連携会議の内容

- 
- ・児童の日常生活課題
  - ・助産師による“伝えたいこと”の共有
  - ・授業内容の検討
  - ・準備する教材の検討
  - ・保健師との協働に関する検討
  - ・教材研究(ワークシート作成・活用)
  - ・授業の目標設定
  - ・プレアンケートの実施(学習振返り等の目的)
  - ・1回の授業による効果と繰り返し授業の検討
  - ・事前事後テストと個別支援の流れの検討
  - ・保護者との連携の検討
- 

なお、この連携会議後に、表2にある「プレ

アンケート」(2件法、資料1)を教諭側で実施した。

### 3-2. 第2回連携会議

出席者は担任教諭、養護教諭、助産師、コーディネーターであった。授業実施の22日前であった。時間は80分間であった。会議内容は下記であった。

表4. 第2回連携会議の内容

- 
- ・小学4年における抽象概念の理解(発達段階)
  - ・小学校の地域性・経済状況の検討
  - ・助産師が外部講師となることの意義の検討
  - ・学校での学習履歴の共有
  - ・プレアンケート結果の分析
  - ・授業目標設定の再検討
  - ・家庭(保護者、児童)向けの配布資料の検討
  - ・学校教育で取り扱われる命の連続性・有限性・神秘性の確認(学習指導要領等)
  - ・学校教育の命の尊重態度育成モデルの確認(学習指導要領等)
  - ・授業目的の設定(再検討)
  - ・事前事後テストの開発(目標達成の評価)
  - ・事前事後テスト等の記名式実施の検討
  - ・授業内容における重要点の検討
- 

第2回会議でプレアンケートの結果について議論がなされた。そこで明らかになったことは全児童が望ましい回答をつけたことであった。例外として1人の児童がプレテストの2番に「いいえ」と答えていた(望ましい回答ではなかった)のみであった。この結果の偏り(ほとんどが望ましい回答をする)から、2件法では児童の生活課題を反映しているとは言えないと考え、授業の事前事後テストは5件法を採用することとした。

この事前事後テスト(資料2)は7つの授業

目標(後述)に対応させ、かつ、表2にある授業内で用いるワークシート(資料3)にも反映させた。

### 3-3. 第3回連携会議

出席者は担任教諭、養護教諭、助産師であった。授業実施の12日前であった。時間は30分間であった。会議内容は下記であった。

表5. 第3回連携会議の内容

- 
- ・授業までの工程確認
  - ・事前アンケート実施日の決定
  - ・保健の教科書の確認
  - ・作成したワークシートの確認
  - ・個別支援対象者の事前設定(事前テスト結果をもって判断する基準)
  - ・授業参加児童の状況確認
  - ・教材準備の役割割り振り
- 

この連携会議後に、表4にある事前事後テストの「事前テスト(事前事後テスト)」(5件法、資料2)を授業8日前に教諭側で実施した。事前テストは事後テストと内容は同一である。

なお、表4にある個別支援対象者の事前設定であるが、事前事後テスト(資料2)において以下のいずれかに該当する児童とした。

表6. 個別支援対象者の事前設定

- 
- ①事後テスト：設問2において「わからない」「少しできない」「できない」と回答した児童
  - ②事後テスト：設問4において「わからない」「少しできない」「できない」と回答した児童
  - ③事後テスト：設問5において「わからない」「少しできない」「できない」と回答した児童
  - ④事後テスト：設問7において「わからない」「少しできない」「できない」と回答した児童
  - ⑤事前テストから事後テストへの回答変化：回

答が右に寄る（望ましくない方向に変化）する  
児童

---

### 3-4. 第4回連携会議

出席者は担任教諭、養護教諭、助産師、コーディネーターであった。授業実施の5日前であった。時間は75分間であった。会議内容は下記であった。

表7. 第4回連携会議の内容

---

- ・プレテスト結果と事前テスト結果の分析
  - ・授業目標の7項目について学校での学習との関連を確認
  - ・個別支援対象の事前設定の確認
  - ・教材準備の役割確認
  - ・外部講師（助産師）から保護者向けレター（資料4）作成・確認
  - ・外部講師（助産師）から家庭（保護者・児童）向けハンドアウト（資料5）作成・確認
  - ・ワークシートの印刷予定の確認
- 

表7にある「授業目標の7項目について学校での学習との関連を確認」であるが、その関連は表8に示すとおりである。ここから、助産師が専門職として思春期性教育に関わる意義が目標として3点抽出（②③④）された。

表8. 授業7目標と学校での学習の関連

---

- ①思春期にどんな変化が起こるか言える。  
▶▶▶知識・理解を問う項目であり、体育の授業（保健）でも学習する。
- ②赤ちゃんは、お母さんのお腹の中で大切に育てられることを理解する。  
▶▶▶知識・理解を問う項目であり、外部講師による説明が初めてとなる。
- ③赤ちゃんをやさしく抱っこすることができる。

▶▶▶態度を問う項目であり、外部講師による説明が初めてとなる。

④自分たちの成長はまわりの人にささえられてきたからだと認識している。

▶▶▶認識を問う項目であり、外部講師による説明が初めてとなる。

⑤悩みができた時や困った時に、相談できる大人を思い浮かべることができる。

▶▶▶知識・理解・態度を問う項目であり、体育の授業（保健）でも学習する。

⑥今生きている時間を大切にしたいと思う。

▶▶▶理解を問う項目であり、道徳の授業でも学習する。

⑦まわりの人やいきもの、草花を大切にしている。

▶▶▶態度を問う項目であり、道徳の授業でも学習する。

---

### 3-5. 第5回連携会議

出席者は担任教諭、養護教諭、助産師、コーディネーター、中学校養護教諭、地区担当保健師、思春期担当保健師であった。授業実施の15日後であった。時間は95分間であった。会議内容は下記であった。

表9. 第5回連携会議の内容

---

- ・事前事後テスト結果の分析（事後テストは授業当日に実施した）
- ・個別支援対象となった児童（6人）に関する情報共有
- ・個別支援対象の児童に関する仮説（なぜそのような回答・回答変化が現れたのかの仮説）と対応についての議論
- ・保護者からの返信への対応（保護者レターは授業前日に発出：児童が持ち帰り、授業当日に記入されたワークシートは授業当日に児童が持ち帰り）

- ・保護者向けレターへの未返信家庭への対応検討
- ・保護者からの返信への対応の検討
- ・個別支援児童への対応行動プラン策定

個別支援対象となった6人については、保護者向けレター（資料4）への返信が1人を除いて未返信であった。

また保護者向けレターへの返信があった10人の保護者には、外部講師（助産師）があらためて返信をおこなった。

### 3-6. 第6回連携会議

出席者は、養護教諭、助産師、コーディネーター、中学校養護教諭、地区担当保健師、思春期担当保健師、母子保健暗闘保健師3人であった。授業実施の48日後であった。時間は65分間であった。会議内容は下記であった。

表10. 第6回連携会議の内容

- ・取組の流れの確認（授業目標設定→授業実施→個別支援実施→評価）
- ・前回会議の個別支援に関する追加情報共有
- ・保護者レターへの返信総括
- ・授業目的（2項目）の評価
- ・授業目標（7項目）に関する評価
- ・事前事後テストの評価
- ・事前事後テストへの回答の妥当性検討
- ・期間をあけた事後テストの再実施検討
- ・次年度の取組における機関連携の検討
- ・外部講師による授業時期の検討
- ・学年をまたいだ繰り返し学習の検討
- ・授業を個別支援につなぐ視点の再共有

### 4. 授業の内容

授業内容と授業構成、教材については、授業案（資料6）を文末に添付した。

### D. 考察

外部講師が関わる思春期性教育は全国各地で展開されている。今回は、まずは取組と授業の目的・目標（Objectives）を設定したのち、授業による目標達成を評価する指標7項目（事前事後テスト）を用いて、授業後に児童の個別支援に至る枠組みを構築した。

今回は地域の専門家として助産師を外部講師として取り組んだが、その外部講師の専門性をどのように授業に活かすのか、児童が従来学んできた内容とどのように組み合わせる授業を構成するのかについて、授業前に4回の連携会議を開催し、組み立てていった。

外部講師による思春期性教育は、授業そのものによる児童の知識習得・態度変容を期待するのはもちろんのこと、終着点（End）として個別支援をどのように進めるかという新しい視点が重要になると考えられた。その意味で、授業は終着点（End）ではなく、授業前後の評価を通して（今回は事前事後テスト）、個別支援につなぐ入口であるとの認識を新たにした。とくに性に関連する問題に関しては、個性・多様性が高く、集団一律とならざるをえない授業には限界がある。

今回の連携は3系統に設定された。まずは学校と地域の専門家である外部講師（助産師）との連携である。こちらは合計6回に及ぶ連携会議を開催することにより、目標・評価という学校では比較的新しい考え方（従来は検討・評価という考え方が主流）に則った取組計画の立案が可能となった。

2つ目の連携系統は、外部講師（助産師）と保護者である。従来の思春期性教育における保護者との連携は存在するとすれば、学校と保護者との間に持たれるものであるが、今回は、授業の中心となった外部講師と保護者の間の連携構築を模索した。手立ては3つあり、一つは

家庭向けハンドアウトであり、もう一つは保護者向けレター、そして記入済の授業ワークシートであった。

この保護者との多層なやり取りにおいて、保護者の反応や無反応、またその反応・無反応と児童の知識理解や態度変容の関連が明らかになった。さらには将来に向けた個別の家庭支援（児童への支援に加えて、保護者本人への支援も含む）や相談先提供につながると考えられた。

3つ目の連携系統は、学校と地域の保健師との連携である。今回は母子保健担当・地域担当・思春期担当の保健師が複数名、取組に参画した。授業当日の教材準備に始まり、授業後の評価、個別支援の行動計画策定等に関わることとなった。個別支援対象とされた児童が、就学前にどのような健康状況・家庭状況にあったのか、また、中学進学後の進路によっては地域でどのような支援が必要なのか、この時間軸を過去と未来に伸ばして議論できるのがこの保健師が参画する大きな意義となり、まさに成育医療等基本方針にある「切れ目のない」支援の枠組みが一人ひとりの子供に向けて構築される一つの手立てとなりうると考えられた。

## E. 結論

今回、地域の専門職（今回は助産師1名を外部講師とした）による思春期性教育の協働モデルを構築するために、ある公立小学校における取り組みの流れを検証した。

外部講師による思春期性教育は、授業そのものによる児童の知識習得・態度変容を期待するのはもちろんのこと、終着点（End）として個別支援をどのように進めるかという新しい視点が重要になると考えられた。その意味で、授業は終着点（End）ではなく、授業前後の評価を通して（今回は事前事後テスト）、個別支援につなぐ入口であるとの認識を新たにした。と

くに性に関連する問題に関しては、個別性・多様性が高く、集団一律とならざるをえない授業には限界がある。

今回の連携は3系統に設定された。1つ目の連携系統は学校と外部講師（助産師）の間の取組であり、連携会議が中心となった。

2つ目は、授業の中心となった外部講師と保護者との連携構築であった。保護者との多層なやり取りにおいて、保護者の反応や無反応、またその反応・無反応と児童の知識理解や態度変容の関連が明らかになった。

3つ目の連携系統は、学校と地域の保健師との連携である。個別支援対象とされた児童が、就学前にどのような健康状況・家庭状況にあったのか、また、中学進学後の進路によっては地域でどのような支援が必要なのか、この時間軸を過去と未来に伸ばして議論できるのがこの保健師が参画する大きな意義となり、まさに成育医療等基本方針にある「切れ目のない」支援の枠組みが一人ひとりの子供に向けて構築される一つの手立てとなりうると考えられた。

## 【参考文献】

- 1) 松浦賢長(編著)：ワークシートから始める特別支援教育のための性教育. ジアース教育新社, 2018. (教材へのイラスト引用)
- 2) 文部科学省：小学校学習指導要領（平成29年告示），2017.
- 3) 文部科学省：中学校学習指導要領（平成29年告示），2017.
- 4) 文部科学省：高等学校学校学習指導要領（平成30年告示），2018.

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

## 2. 学会発表

なし

## G. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

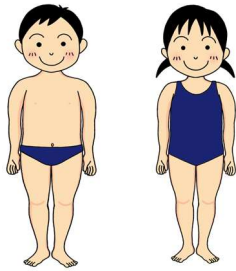
なし

### 3. その他

なし

プレアンケート：これまでの振り返り 4年 番 名前

「はい」か「いいえ」どちらかに○をつけましょう。

質問	どちらでしょう		絵を見て考えてね
1. 水着や下着で「かくすところ」は、人に見せたり、さわらせてたりしてはいけません。	はい	いいえ	 <p data-bbox="1145 1041 1321 1070">他の絵は割愛</p>
2. 思春期の体の変化は、大人の体に近づき、新しい命を生み出すための準備が始まったしるしです。	はい	いいえ	
3. 思春期の体や心の変化はみんなちがいます。早い人も遅い人もいます。	はい	いいえ	
4. 赤ちゃんは、お母さんのお腹のなかで大切に育てられ、生まれてきます。	はい	いいえ	
5. 生まれたばかりの赤ちゃんでも、一人で生きていけます。	はい	いいえ	
6. 私たちが、できることがどんどん増えて成長しているのは、周りの人にささえられたことや、自分のがんばりがあったからです。	はい	いいえ	



## 事前事後テスト

4年 \_\_\_\_\_ 番 名前 \_\_\_\_\_

質問	自分に近いところに○をつけてね				
①思春期は、子どもから大人へと変化する時期です。どんな変化が起こるか言えますか。	言える	少し 言える	分から ない	言えない	ぜんぜん 言えない
②赤ちゃんは、お母さんのお腹の中で、大切に育てられることを知っていますか。	知ってる	少し 知ってる	分から ない	知らない	ぜんぜん 知らない
③あなたは、赤ちゃんをやさしく抱っこすることができますか。	できる	少し できる	分から ない	できない	ぜんぜん できない
④私たちができることがどんどん増えて成長しているのは、まわりの人にささえられてきたからだと思いますか。	思う	少し 思う	分から ない	思わない	ぜんぜん 思わない
⑤なやみができた時や困った時に、相談できる大人を思い浮かべることができますか。	できる	少し できる	分から ない	できない	ぜんぜん できない
⑥今生きている時間を大切にしたいと思いますか。	思う	少し 思う	分から ない	思わない	ぜんぜん 思わない
⑦あなたは、まわりの人やいきもの、草花を大切にできていますか。	できて いる	少しでき ている	分から ない	できて いない	全くでき ていない

令和4年〇月〇日

じゆぎょう  
《今日の授業》

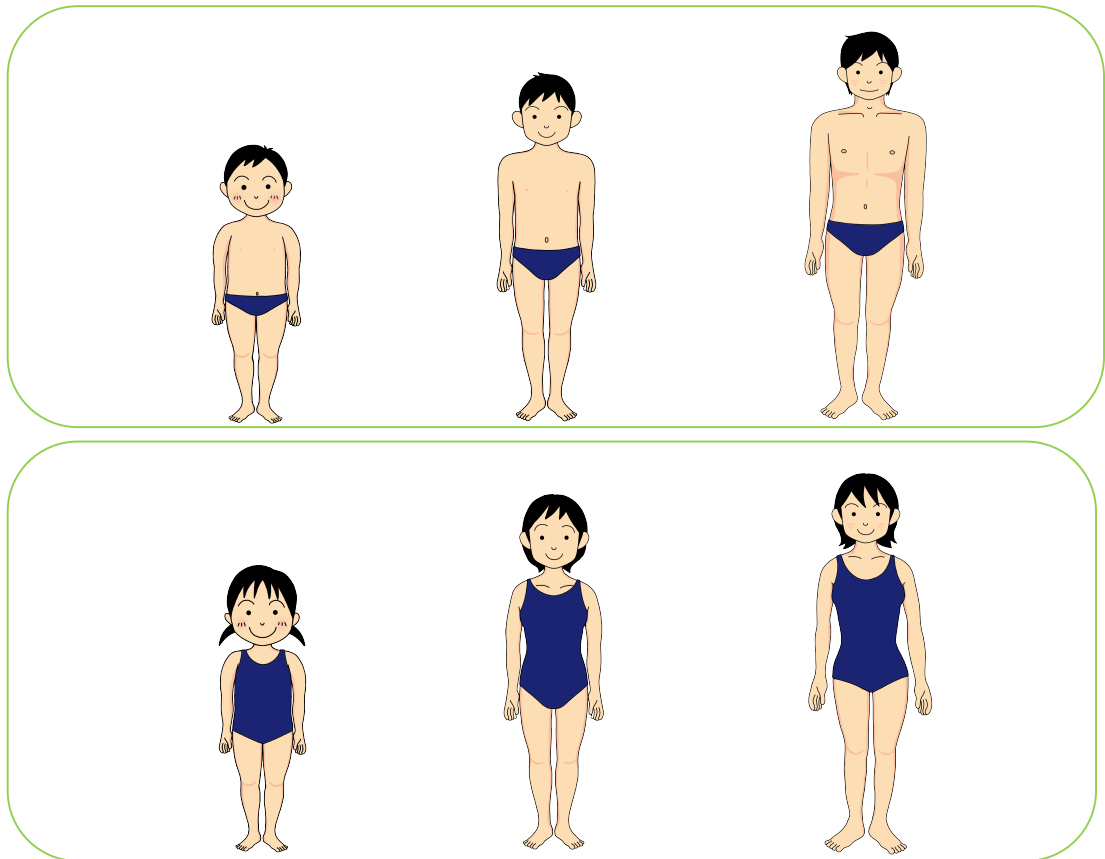
1. 赤ちゃんはお<sup>なか</sup>腹の中なかにいる時から、まわりの人にささえられて  
そだそだ育そだっていることが分かる
2. 家族かぞくや友ともだち達、まわりのいきものを大たいせつ切たいせつにしようと思う

4年 番 名前

---

# 1. 思春期<sup>ししゅんき</sup>について知ろう

1) 思春期<sup>ししゅんき</sup>はどの人でしょう。○をつけましょう



ヒント

思春期<sup>ししゅんき</sup>は8才ころから18才ころ

左の人は、ほ育園やようち園の子ども？

まん中の人は、小学校4年生くらい？

右の人は、高校生<sup>こうこうせい</sup>くらい？

## 2) 思春期<sup>ししゅんき</sup>の<sup>へんか</sup>変化

- **ホルモンの<sup>えいきょう</sup>働き**で、体と心にいろいろな<sup>へんか</sup>変化<sup>お</sup>が起こります。
- 子どもから大人になっていく<sup>へんか</sup>変化<sup>お</sup>で、**だれにでも**起こります。
- 体つきや心の<sup>へんか</sup>変化<sup>お</sup>の起こり方は、**みんなちがいます**。

### 3) 思春期の体の変化

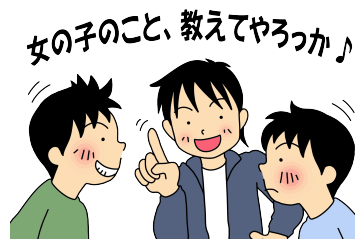
女子・胸がふくらむ

- お尻のまわりが大きくなる
- わきや性器のまわりに毛がはえてくる
- 初経がおこる

男子・肩はばが広がる

- ひげがはえてくる
- わきや性器のまわりにも毛がはえてくる
- 精通がおこる

### 4) 思春期の心の変化



### 5) なやみができた時やこまった時は

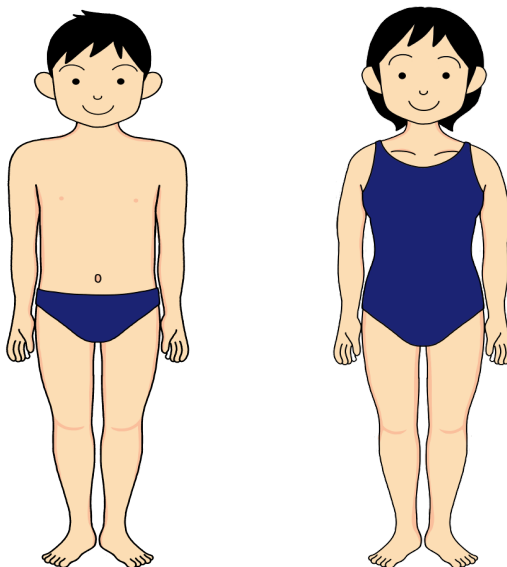
信じられる人に相談しましょう。いつも見守っている親や

家族”保健室の先生や担任の先生”地いきや病院の助産師

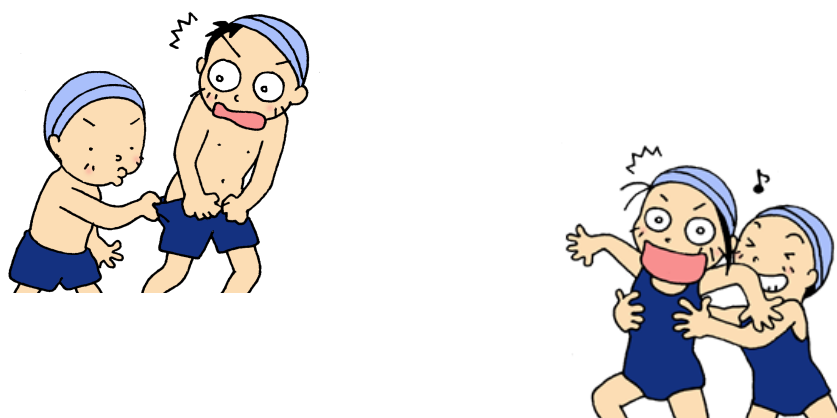
や保健師がまわりにいます。

## 2. 大切な「かくすところ」について知ろう

みすぎ したぎ 水着や下着でかくれる部分ふぶんは、人がいる所では「かくすところ」。



「かくすところ」は、赤ちゃんの命の始まる大切なところ。



ともだち 友達の「かくすところ」を見ません、さわりません。

大切な自分だけの体を守らなければいけません。

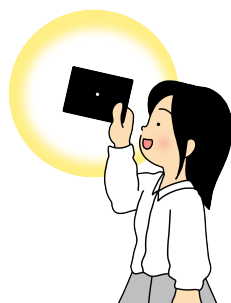
### 3. 赤ちゃんのたん生について知ろう

#### 1) 赤ちゃんの命の始まり

一**びき**の**精子**<sup>せいし</sup>（お父さんの持つ命のもと）と

一**個**の**卵子**<sup>らんし</sup>（お母さんの持つたまご）が**あ**わさって、

一**人**の**命**が始まります。一つとして**同じ命はありません**。



#### 2) 赤ちゃんの**成長**<sup>せいちよう</sup>

赤ちゃんは10か月の**間**<sup>あいだ</sup>、**お母さんのお腹**<sup>なか</sup>の中で

**大切に**<sup>たいせつ</sup>**守**<sup>まも</sup>**られて**<sup>そだ</sup>**育ち**ます。

#### 3) 赤ちゃんのたん生

赤ちゃんは、**お母さん**の**がんばり**だけでなく、

赤ちゃん**自身**<sup>じしん</sup>も**体**<sup>む</sup>の**向き**をかえるなどして、

**お母さん**を**助け**<sup>たす</sup>て、**協力**<sup>きょうりょく</sup>して生まれてきます。

## 4. 赤ちゃんの持つ力と生まれてからの成長を知ろう

### 1) 生まれたばかりの赤ちゃんの持つ力

**目**は見えていて、太陽などの光に“まぶしい！”という顔をした  
り、お母さんや家族の顔を“じーっ”と見たりします。**耳**はよく  
**聞こえている**ので、大きな声にはびっくりしてしまうから、近く  
で小さな声で話しかけてあげてね。**におい**をかぎ分ける力は大人よ  
**りすごい**と言われていて、お母さんと他のお母さんのにおいをか  
ぎ分けられるのですよ。

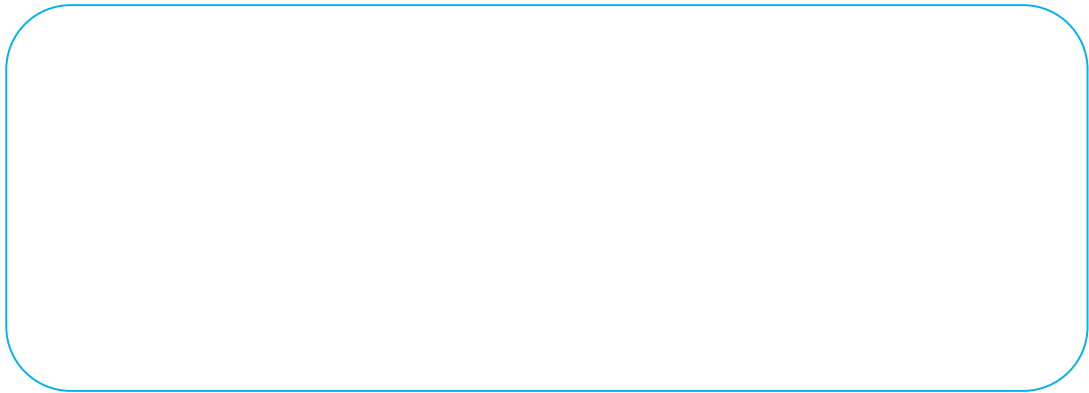
なか  
お腹の中にいる時から生きる力を持った赤ちゃん。  
でも、自分でできることは少なく、  
な  
泣いて“してほしいこと”を伝えていきます。

### 2) 赤ちゃんの時からの成長

私たちが生まれたときから今まで、できることがどんどんふえて  
成長しているのは、まわりの人にささえられたことや、自分のがん  
ばいがあったからです。自分も  
まわりの人をささえている  
一人なのです。

## 5. 赤ちゃん人形をだっこしてみよう

## 1)赤ちゃんが安心するだっこの仕方<sup>あしん</sup>を考えよう<sup>しかた</sup>



## 2)友達<sup>ともだち</sup>といっしょにだっこしてみよう

目も見えて耳も聞  
こえる。やさしく

赤ちゃんが泣く時<sup>な</sup>  
はどんな時かな

## 6. 助産師<sup>じよさんし</sup>がみなさんに伝えられること

【多くのお母さんや赤ちゃんから<sup>おし</sup>教えてもらったこと】

**1つ目は**

**2つ目は**



今日の授業で、学習したことや感想を書いてみましょう。

---

---

---

---

---

---

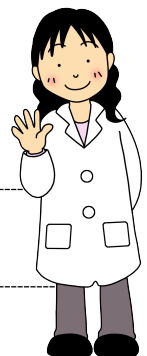
---

---

保護者のみなさまへ

ご覧いただきまして、ご意見ご感想をお聞かせください。

また、ご家庭で工夫していることなどがありましたら、  
どのようなことでもよいので是非お知らせください。



---

---

---

◎本日の授業は、〇〇大学〇〇先生にご指導いただき、4年生みんなが「分かる」「できる」ことを目標に、学校（担任・養護教諭）と外部講師（助産師）とでワークシートを作成して学習しました。

◎お手数ですが、ワークシートは〇月〇日（水）までに担任へ返却をお願いします。

令和4年〇月〇日

C 小学校4年生保護者のみなさま

命の授業外部講師  
助産師

## 「命の授業」実施のお知らせ

朝晩の冷え込みもいよいよ厳しくなってきましたが、保護者のみなさまも、お元気でお過ごしでしょうか。

さて、4年生は〇月〇日（水）に保健指導の一環として、「命の授業（性と命の誕生について）」を行います。

今回の授業を行うにあたり、4年生のみなさんに事前アンケートをお願いしたところ、理解にばらつきがありました。もう少し繰り返しの学習があればと良いかと思われ、今回の授業実施となりました。授業の内容は下記のとおりです。

授業で使用したワークシートを学習後に返却いたしますので、ご家庭でお子さま学習内容について話題にしていただけましたら幸いです。また、ご家庭からご意見を記入していただく欄がありますので、授業の感想やご家庭での工夫などがありましたら、ぜひお聞かせください。

お手数ですが、ワークシートは、〇月〇日（水）までに担任の先生に返却していただけるようご協力をお願いいたします。

### 記

#### 1. 授業のねらい

- 1) 赤ちゃんはお腹の中にいる時から、周りの人に支えられて育っていることが分かる
- 2) 家族や友達、周りのいきものを大切にしようと思う

#### 2. 授業の内容

- ①思春期について知ろう
- ②大切な「かくすところ」について知ろう
- ③赤ちゃんの誕生について知ろう
- ④赤ちゃんの持つ力と生まれてからの成長を知ろう
- ⑤赤ちゃん人形を抱っこしてみよう

#### 3. その他

思春期のお子さまの悩み事や相談相手、保護者である私たちも自分の体について知ることのできる機関等を別添資料としてお配りさせていただきました。

4年生のみなさんへ

## 相談するってどういうこと



### 相談ってなに？

なやみができる時やこまった時、信らいてくれる人に話を聞いてもらうこと。  
そして、どうしたらいいかをいっしょに考えてもらうこと。

### 相談したらどうなるの？

「どうしていいかわからない～」「もういやだ！」「なきたい…」ってことが  
“自分は一人じゃない”  
“一人だけでがんばらなくてもいいんだ” って、きっと思えるよ。

### 相談ってだれにするの？

みなさんのことを一番に大事に思ってくれている家族。  
(いつもは、うるさい！って思っているかもしれないけれど)  
学校にいる時は、“この先生好き”と思う先生に話してみたらどうかな。

4年生のみなさんへ

## 知っていて欲しいこと



### 思春期の女子のこんな時は

家族やほけん室の先生に相談しようね！

- はじめての月経(げっけい)後、3か月以上次の月経がない
- 月経が終わったのにまた出血が始まる、出血がなかなか止まらない
- 月経のたびにおなかやこし、頭などが痛い、体がだるくてしんどい

### 思春期の男子のみなさん

電話で相談できるところがあった！



令和2年度の思春期相談センターには、〇〇回の電話の相談があって、ほとんどが男子で性器(せいき)などのなやみなんだって

## 身近で相談できる人、場所

相談内容	相談機関 電話番号等
家族みんなの健康 思春期の性に関する事など 小学校6年生になると「子宮頸がんワクチン」 のお知らせもここから送られてきます	B市役所健康対策課 保健師 Tel: ☎:
思春期の性に関する事	思春期相談センター Tel:
心と体の健康	家族のかかりつけの先生(内科、小児科、産婦人科など)に、まずは相談してみましょう
今日の授業に関する事など	助産院 ○○ 助産師 ○○ Tel: ☎:

## 親の私たちも 体のことをもう少し勉強してみませんか

- 公益社団法人 日本産科婦人科学会 ホームページ「一般の皆様へ」
- 一般社団法人 日本家族計画協会 Women's health
- 国立がん研究センター 「がん情報サービス」  
[gan.joho.jp](http://gan.joho.jp) 「一般の方向けサイト」
- 一般社団法人 日本性感染症学会  
「大人がこどもに答えるQ&A」「予防啓発スライド」
- 緊急避妊薬(アフターピル)取り扱い医療機関を探す  
<https://www.jfpa-clinic.org/s>



## C 小学校 4 年生 命の授業

### 目的

1. 赤ちゃんはお腹の中にいる時から、まわりの人にささえられて育っていることが分かる
2. 家族や友達、まわりのいきものを大切にしようと思う

### 授業内容(外部講師担当)

時間	学習活動	指導・支援について	教材・教員等
導入 2分	1講師自己紹介から助産師の仕事を知る		黒板、胎児・新生児人形
展開1 3分	2思春期の体の変化を確認(振り返りの振り返り)する	・思春期は「大人の体に近づき、新しい命を生み出すための準備期」と説明。	ワークシート1、2
展開2 20分	3赤ちゃんの誕生について知る ①命の始まり(妊娠) ②お腹の中での成長(胎児の成長) ③生まれる(出産)	・命の始まりは「精子と卵子が“合わさって命のもと”ができる」と説明。 ・お腹の中での成長は「お母さんの体の子宮という赤ちゃんの育つ部屋で 10 か月間育つ」と説明。 ・生まれる場面は「(DVD で)お母さんと赤ちゃんが協力して生まれる」ことを視聴してもらう。	ワークシート3、穴を開けた色画用紙(人数分)、胎児人形、パネル(妊娠初期と後期)、DVD『赤ちゃんこの素晴らしき生命』、PC等
展開3 5分	4赤ちゃんは家族や周囲の人の中で大切に、守られて育っていることを知る	・生きることができなかった赤ちゃんの話。 ・赤ちゃんが元気に生まれることができるために、お母さんの頑張りや家族、周囲の支えがあることの話。	

展開4 3分	5“赤ちゃんが気持ちいい”と感じる抱っこの仕方を考える	・生まれながらの赤ちゃんの生きる力の話。 ・出された意見を板書する。	ワークシート4
展開5 7分	6友達と一緒に新生児人形を抱っこする	・教材であっても大切にお世話するよう声をかける。 ・展開4で学習したことを体験できるようにサポートする。	ワークシート5 新生児人形 5 体 (5 グループ)
展開6 5分	7授業のまとめをする	・今回の授業の大事な内容は、ワークシートを通して、みんなで確認する。 ・学習内容や感想をワークシートに記載できるようにサポートする。	ワークシート6
展開7	8 確認アンケートの記入		

#### 検討確認事項

- ・授業の主となる内容
- ・休み時間に展開7(事後テスト)記入
- ・机の配置、グループ分け
- ・保護者参観と協力依頼(抱っこのサポート等)
- ・授業後の個別フォロー
- ・今年度個別フォローも含めた保健師の関わり

#### 事前・事後アンケート(授業7目標)

- ①思春期は、子どもから大人へと変化する時期です。どんな変化が起こるか言えますか。
- ②赤ちゃんは、お母さんのお腹の中で、大切に育てられることを知っていますか。
- ③あなたは、赤ちゃんをやさしく抱っこすることができますか。
- ④私たちができることがどんどん増えて成長しているのは、まわりの人にささえられてきたからだと思いますか。
- ⑤なやみができた時や困った時に、相談できる大人を思い浮かべることができますか。
- ⑥今生きている時間を大切にしたいと思いますか。
- ⑦あなたは、まわりの人やいきもの、草花を大切にできていますか(事後:これからできそうですか)。